2024年7月18日

**J-CLIL研究助成制度**

**1. 趣旨**

J-CLILでは、実践発表を最重視して、例会、大会、支部企画などを行ってきた。その結果、会員数は多数の小中高教員を含む約800名に達し、日本におけるCLIL普及に多大な影響を及ぼしている。研究においても、多くの会員が、実践研究だけでなく、理論研究や実証研究に取り組み、国内外で成果を発表している。本制度はそのような取り組みを支援することで、会員による研究活動を促進し、国内におけるCLIL実践の更なる推進をはかるために創設された。2023年度は3つのCLIL実践・研究が支援され、今年度8月にその報告会が執り行われる。以下は2024年度研究助成についての詳細である。

**2. 実施スケジュール**

2024年7月 研究助成制度告知

2024年8月 募集締切、選考開始

2024年9月 選考終了、結果告知

2024年9月 研究支援開始

2025年7月 研究支援終了

2025年8月 研究成果報告会（口頭）

2026年1月 研究成果報告（Newsletter）

**3. 支援額と採択件数**

　1研究あたり最大10万円　（2件の計画の採用を原則とする）

※ 研究助成予算に上限があるため、複数の採択があった場合は、減額される場合があります。また、必要と思われない経費についても、減額の対象となります。

**4. 応募資格**

以下のいずれも満たすこと

(1) J-CLIL会員である

(2) 研究成果報告会に参加できる

(3) 過去にJ-CLILの研究助成を受けていない

ただし、以下のいずれかの条件に該当する場合は応募不可

(1) 研究テーマ（企画内容）が、 過去に発表したことがあるもの、または発表する予定のもの（学位論文も含む）

(2) 他の団体等から委託されたもの、 または委託される予定のもの

(3) 第三者（指導者、友人、知人など）が応募者に代わって企画する研究テーマ（企画内容）のもの

**5. 応募書類**

別添の「2024年度助成金申込書」に必要事項を記入し、[grant@te-clil.jp](grant%40te-clil.jp) (担当: 白井・吉田・麻植) 宛に送付してください。締切は2024年8月20日(火)23:59とします。

(1) 基本情報（全員分）

氏名 / 所属機関 / 電話番号 / メールアドレス / 職歴 / 申請者の過去の研究（該当する場合のみ）

(2) 研究企画書

研究テーマ（タイトル）/ 目的 / 期待される成果 / 特色 / 構想・方法 / これまでの経過・準備状況 / 成果報告会の予定日 / 他の学会や機関誌等での発表予定

(3) 支出計画

助成金申請額と資料費、会議費、研究協力者謝金、印刷費、通信費、データ処理費、国内旅費、その他費用のそれぞれの内容と金額

**6. 選考方法**

以下の観点で選考委員会が選考を行う。

(1) 研究計画の独自性と実現可能性

(2) 研究予算使用計画の妥当性

**7. 選考委員**

以下の構成で選考委員会を設置する。

(1) J-CLIL会長

(2) J-CLIL副会長（1名）

(3) J-CLIL Journal編集長（または編集委員）

(4) J-CLIL Newsletter編集長（または編集委員）

**8. 成果報告**

(1) 書面での成果報告書 ... 使用言語指定なし、学会HPにて掲載、論文形式が望ましい。

(2) 口頭での成果報告会 ... 使用言語指定なし、発表を録画し、学会HPにて視聴可能とする。

**9. その他**

(1) 2024年8月20日(火) 23:59 を書類提出締め切りとする。

(2) 単独での応募も可能であるが、複数の会員による共同研究が望ましい。

(3) 大学教員の応募も可能であるが、研究費を獲得しにくい小中高の教員の応募を歓迎する。

(4) 基本的には単年度での取組みであるが、顕著な成果が認められる場合は、1年に限り継続を可能とする。本件を希望する場合は研究助成担当者にメールにて申請ののち、運営会議にて審議を行う。認められた場合のみ、追加の助成なしで期間延長を認めるものとする。